



第335回 人事・経営研究会 ＜Webセミナー＞

岡田塾 - VII

生産性向上③

 株式会社日本人事総研
取締役会長 岡田勝彦

《資料の取扱いについて》
本資料はJIPCLUB会員に提供しています。同業及び競合者への開示、提供は厳禁です。

生産性向上に挑戦（岡田塾VI 生産性向上②より）

I. 人に焦点

1. 性格の影響回避

* 2. マンパワー アップ…育成／自助努力

3つの力向上 気力（集中力）／知力／体力

{	気力（集中力）	…発揮能力アップ／やる気向上
	知力	…能力向上
	体力	…健康度向上

II. ノウハウに焦点

* 今回のテーマ

生産性向上⇒マンパワーの向上

○マンパワー＝気力（集中力）：発揮能力向上／やる気向上

＊知力：能力向上

体力：健康度向上

※管理職層・・・キーパーソン

○テーマ：できる範囲が 広がる／深まる／高まる（横展開/縦展開）

考える範囲が 広がる／深まる／高まる（横展開/縦展開）

処理が 早まる／ミスなし

○レベルアップ方法…育成／自助努力

能力アップ

I. 修得能力＝知識／技術

ステップ1

レベル別職務 整備

具体的手法：①レベル別役割 整備

②レベル別役割別代表職務 整備

ステップ2

レベル別代表職務必要知識／必要技術 整備

ステップ3

レベル別必要知識／必要技術 ⇒ 教育

ステップ4

OJT 実践教育

ステップ5

修得レベルフォロー

必要に応じて再教育

※業務修得のスピードアップ

※正しい知識／技術を身につける

※知らない／できないを無くす

※急がば回れ

Ⅱ．習熟能力

初 級	中 級	上 級
* 基本力		
理解力	判断力	決断力
工夫力	企画力	創造力
表現力	折衝力	渉外力
-	指導力	統率力
推察力①	推察力②	推察力③

* 基本力（読む・書く・話す・聴く・処理）… 学生時代

理解力

【聞く⇒聴く⇒聴きとる】 【読む⇒読み取る】

1st : 正しく理解……事実と思考の分別

2nd : 目的まで理解…何のための発信か

3rd : 背景まで理解…何故そのような発信をするのか

本音/本質まで理解（推察） （参考 原因⇒真因）
一を聴いて十を知る（推察）

※理解できないと⇒生産性阻害
何度も繰り返し説明の必要あり
次の言動に間違いが発生し、やり直しが発生
Out Put に差が生じる

参考：推察：人の気持ちや考えを導き出す事（やや根拠あり）

推量：根拠がなくても導き出す事

推論：根拠や証拠があり論理的に結論を導く事

理解力を高める 《習熟です根気よく》

「分かりましたか」⇒「何故か」or「何のためか（目的）」⇒「その背景は」

発信者の声

『どうして分からないのか？』 『どうして間違えるのか？』

受信者の声

『分からない』 ×

『どうして分からないのか？』 『どうして間違えるのか？』

* 進歩のバックボーン

要因①：聴いていない

集中力無し 【大切な話をするからよく聞いて】

聴く気がない 【あなたにとって〇〇の利益があるよ】

違うことを考えている 【あなたにとって、とっても大切なことよ】

難しくて無理 【知識の修得指導、どこが分かる/分からないの分別】

要因②：聴いているが 聞き違い・読み違い…思い込み違い、早とちり、すり替えて聞く

【怪しいことは確認、評価や価値は除外して、聴くことに専念】

正しい知識不足（業務知識、一般常識）

『何のことか分かりますか』

一般常識…【知らない言葉はその場で調べる習慣を】

業務知識…教わったことあり→【復習】

教わったことなし→【教える】

浅い…思考視座【何を/何が】⇒【何のために】【何故】【目的は】⇒推察力

要点…【数で抑える】（言いたいことは、〇〇・・・の□点でしたね）

本音…【本当に言いたいことは、書きたいことは】

* 話し手に問題は？